

平成 26 年 10 月 15 日

和漢医薬学会 編集担当理事
稲垣直樹
一般社団法人日本東洋医学会
用語及び病名分類委員会
担当理事 並木隆雄

一般用漢方処方英語略号制定について

一般用漢方処方英語略号制定に至るまでの経緯

近年、ISO/TC249 を中心に伝統医学の国際標準化が議論されている状況ですが、日本漢方の持つ国際的な優位性の一つとして、品質が一定化された漢方エキス剤が挙げられます。現在、大建中湯や抑肝散などの漢方エキス剤のエビデンスの蓄積が進んでいる状況ですが、エビデンスを論文化していくときに問題となるのが、漢方製剤の英語表記であるのは、皆さんもご存じのとおりです。

本来であれば、非漢字圏の研究者にも、PubMed などの検索エンジンで容易に検索できる英語表記が求められるところですが、現状としては、各研究者が漢方製剤の略号を記載し、混乱が生じている状況です。

以上の背景をもとに、

平成 25 年度厚生労働科学研究費補助金（地域医療基盤開発推進研究研究事業）

「国際化に対応した科学的視点に立った日本漢方診断法・処方分類及び用語の標準化の確立」の分担研究の一つとして、漢方国際化に向けて一般用漢方処方の英語略号表記の試案作成が行われました。

当初の目的から、まず、対象として、2011 年版の「改訂 一般用漢方処方の手引き」に掲載されている漢方エキス剤 144 処方の略号の試案が作成され、厚生労働省の研究班における研究発表会にて、試案が発表されたところ、反響が大きかったことから、引き続き、2012 年 8 月「一般用漢方製剤承認基準」における、現時点での OTC も含めた 298 処方までを対象として試案が作成されました。

その後、

平成 26 年 3 月 5 日、日本東洋医学会の用語及び病名分類委員会での承認、

平成 26 年 5 月 11 日、編集委員会からの日本東洋医学会理事会での報告を経て、

平成 26 年 8 月 31 日、和漢医薬学会、日本東洋医学会の合同英文誌作成の編集委員会で検討された結果、一般用漢方処方の英語略号表記の試案に対しての意見募集を行うこととなりました。

略号作成にあたって検討された内容とその概要

略号作成にあたっては、初めに PubMed で検索される漢方論文における漢方処方表記状況を検討しました。大建中湯、桂枝茯苓丸、六君子湯などを例に検討をおこなったが、表記方法がそれぞれ異なり、検索される論文数は一致しない状況であり、略号作成の必要性が確認されました。略号作成の方法としては、生薬の植物名の学名をもとに略号を作るという案もありましたが、漢方の持つ構造が理解しにくいという意見や、代表となる生薬をどう選定するのかという意見も出て、採用とはなりません。最終的に、現在発表されているローマ字表記法を基に、原則として 3 文字となるように作成する案が採用されました。ただし、桂枝湯加減法などの場合は、骨格となる桂枝湯の略号 KST に、桂枝加竜骨牡蠣湯であれば KSTRB と加減した生薬を追記するような表記とし、漢方処方の構造が理解しやすい表記となるように工夫をしております。大建中湯のように DKT として認知されているエキス剤であれば、その略号を優先しました。同一の略号となる場合は、論文発表の状況を考慮し略号を選定した。以上の方法論に従い、一般用漢方処方 298 処方の英語略号を制定しました。

略号使用状況の検討

代表的な漢方エキス剤である大建中湯、六君子、半夏瀉心湯、桂枝茯苓丸など代表的な漢方処方の略号、それぞれの表記で検索される論文数を検討しました。以下の表で示すように、検索される論文数は一致しない状況であり、略号作成の必要性が、改めて確認されました。(検索論文数は 2014 年 1 月 6 日現在)

大建中湯

keywords	ヒットした論文数
daikenchuto	75
dai-kenchu-to	65
TJ-100	7
TU-100	16
DKT	118
DKT daikenchuto	32

六君子湯

keywords	ヒットした論文数
rikkunshito	60
rikkunshi to	60
RKT	41
rikkunshito RKT	6
TJ-43	59
rikkunshi to TJ-43	55
Liu-Jun-Zi-Tang (中国語表記)	53

半夏瀉心湯

keywords	ヒットした論文数
hangeshashinto	4
hange shashinto	17
hange shashin to	23
hange-shashin-to	22
HST	1102
HST hange shashin to	2
TJ-14	19
TJ-14 hange shashin	13

桂枝茯苓丸

keywords	ヒットした論文数
keishibukuryogan	59
keishi bukuryo gan	71
keishi-bukuryo-gan	71
TJ-25	59
TJ-25 keishibukuryogan	59
KBG	77
keishi bukuryo gan KBG	18

略号作成にあたって検討された方法論について

- 1) 生薬の植物名の学名をもとにする方法
- 2) 処方イメージを英訳し、その頭文字をもとに作成する方法
- 3) ローマ字表記法をもとに作成する方法

1) 生薬の植物名の学名をもとにする方法

加味逍遥散であれば、*Angelica Bupleurum gardenia Mentha*、当帰 *Angelica*、柴胡 *Bupleurum*、山梔子 *gardenia*、薄荷 *Mentha*

生薬の羅列をもとに ABGM と略号を作成する方法

問題点

- ・漢方の持つ構造が理解しにくい
 - ・代表となる生薬をどう選定するのか
 - ・生薬構成が似ているもの、薬味が多いものはどうするのか
- などが挙げられ採用となりませんでした。

2) 処方イメージを英訳し、その頭文字をもとに作成する方法

問題点

- ・そもそも、イメージの英訳を誰がするのか？
 - ・作業が膨大になり現実的でない
- などが挙げられ採用となりませんでした。

最終的に、ローマ字表記法をもとに作成する方法が、日本薬局方との整合性も取れ、今後の拡張も可能と判断されて採用となりました。

3. 漢方エキス剤略号表記の略号制定の方法

- 1) ローマ字表記法の記載をもとに3文字を目安に略号を制定。
- 2) 略号が同じ場合は、Pubmed で、より多く検索されるものを優先
- 3) 略号が同じ場合は、すでに略号が使用されているものを優先
- 4) 加味処方基本骨格の略号を残し、追加生薬を略号化

- 1) ローマ字表記法の記載をもとに3文字を目安に略号を制定

例1. 当帰四逆加呉茱萸生姜湯

読み方：とうきしぎやくかごしゅゆしょうきょうとう

漢方処方ローマ字表記法：tokishigyakukagoshuyushokyoto

略号：TSGST

例2. 十全大補湯

読み方：じゅうぜんたいほとう

漢方処方ローマ字表記法：juzentaihoto

略号 JTT

- 2) 略号が同じ場合は、Pubmed で、より多く検索されるものを優先

方剤	日本語表記	ローマ字表記	略号	検索論文数
大建中湯	だいけんちゅうとう	daikenchuto	DKT	118
大黄甘草湯	だいおうかんぞうとう	daiokanzoto	DKT→ DKZT	4

- 3) 略号が同じ場合は、すでに略号が使用されているものを優先

方剤	日本語表記	ローマ字表記	論文数	略号検索数
葛根湯	かっこんとう	kakkonto	43	KKT 0 KT 1
加味帰脾湯	かみきひとう	kamikihito	18	KKT 1

- 4) 加味処方基本骨格の略号を残し、追加生薬を略号化

桂枝湯	keishito	KST
桂枝加朮附湯	keishikajutsubuto	KSTJB
桂枝加葛根湯	keishikakakkonto	KSTK
桂枝加厚朴杏仁湯	keishikakobokukyoninto	KSTKK
桂枝加竜骨牡蛎湯	keishikaryukotsuboreito	KSTRB
桂枝加苓朮附湯	keishikaryojutsubuto	KSTRJ
桂枝加芍薬湯	keishikashakuyakuto	KSTS
桂枝加芍薬大黄湯	keishikashakuyakudaioto	KSTSD